

日本女子体育大学での図書館システムCARIN導入事例

I 次期図書館システム構築の概要

日本女子体育大学附属図書館

星谷 速人

はじめに

本学の図書館システムが、京セラ丸善システムインテグレーション社のCARIN-iに変更となりました。

平成11年(1999)に富士通iLiswaveが採用されてから、12年振りのシステムの変更となります。

平成23年3月10日に入札を実施しました。東日本大震災の前日でしたので、その後の構築予定が約一カ月程度の遅れが出ています。

今回、初めての入札での調達となったため、仕様書(68ページ)を作成しました。

基本要件(抜粋)

- 現行業務システムの性能を下回らないこと。(業務システムおよびOPAC)
- 年1回以上の機能向上のためのバージョンアップ等を実施すること。
- 原則として月1回以上の運用支援担当SEの訪問(9時～18時)による運用支援を行うこと。(運用支援には、業務システムなどの監視・障害対応・定期保守、業務ソフトウェアの設定変更、業務システムの利用者支援などの業務システムに関する幅広い支援を含む。)
- 図書館業務端末は、シンクライアントを採用すること。
(①情報漏えい対策、②クライアントの集中管理、③移動性の確保)
- 図書館業務サーバは、情報処理センターのサーバ室にVMware上の仮想OSとして構成すること。

リプレイスの目的

利用者にとって使いやすいOPACに実現

CARIN-iは、次世代図書館システムとして開発が進んでいるが、現時点では次世代OPACとして不足している機能があるため、本学では3つ機能を追加しました。

※これらを追加するために、業務系のカスタマイズを大幅に削減しました。

1. 次世代検索サービスの導入 (Serials Solutions Summon)

Googleのように素早く、たった一つの検索窓から、図書館が提供する信頼性の高いコンテンツが検索できるようにする。

Summonを、CARIN-iのOPACとシームレスに接続します。

図書館の蔵書データなどのメタデータを、Summonにハーベスティングさせ、横断検索では実現できない素早い検索を実現します。貸出情報などは、リアルタイムにリンクさせます。

※本学では、平成19年度からSerials Solutions社の統合検索サービスの360Searchを導入していますが、検索結果の表示速度や関連順の表示ができない事などの課題がありました。

2. 電子ジャーナル情報のリアルタイム表示

リンクリゾルバの中間窓を省き、利用者がOJへ到達するステップを減らします。

これは、OPACの検索結果にリンクリゾルバ(360Link)のリンク情報をリアルタイム表示する機能です。京都大学図書館で導入しています。

また、OPACの詳細画面で表示させるリアルタイム表示を、レスポンスの問題がクリアできれば、一覧画面で表示することを検討しています。

3. iPhone、iPod touch、iPad用アプリ

OPACで本を探さないで、直接書架で本を探す学生が多い。

CARIN-iのOPACにレコメンド機能、レビュー機能や新着案内などがあっても利用されない。

学生の持っているiPhone、iPod touch、iPad2のカメラで資料IDを撮影し、その情報を元に様々なサービスを展開する。

まだ、構想段階ですが、・・・

- ・日外アソシエーツの「BOOKデータベース」などと連携し、目次やあらすじを表示すること。
- ・ログインや撮影した資料IDの情報からレコメンド情報を表示する。

(1)おすすめ本、人気の本、(2)新着案内、(3)貸出ランキング、(4)所蔵している同じ著者の本や出版されている同じ著者の本、など。

- ・資料IDの情報から、貸出の予約、更新を行う。
- ・図書館が作成したデータを表示する。
- ・ソーシャルネットワークとの連携機能を有すること。(運用面に課題がある)

Ⅱ 構築予定内容の発表は、

京セラ丸善システムインテグレーション社の仲田氏から